

北 洲

「北洲リフォーム」事業強化 中期的に売上倍増へ

北洲（宮城県黒川郡、
村上ひろみ社長）は、同
社リフォームブランド

「北洲リフォーム」の商品ラインアップ「とても暖かいリフォーム」シリーズの提案営業を強化する。とくに新規需要獲得に力を注ぎ、現在、売上高18億円の新規顧客リフォームを、中期的に倍増させることを目指す。

同社のリフォーム事業には約8千棟におよぶOB顧客向けと新規顧客向けが含まれる。このうち今後、強化したいのが新規顧客向けだ。

同社のリフォームは、05年に設けられた「既存住宅検診センター」による、サーモグラフィを活用して壁内の熱分布を確認する精密なインスペクションが特徴。目視で確認できない雨漏りや結露を発見し、家の状態を詳細に把握できることから、見積もりをより正確に算出できるので「お客様の納得度も向上する」（村上社長）。

「とても暖かいリフォーム」シリーズのうち、基本性能と間取り、内外装など全てを一新する「一棟まるごとリフォーム」と、断熱改修と室内仕上げなどの内部改修を行う「内部まるごとリフォーム」は、長期優良住宅化リフォームのA基準（既存住宅の状況による）に適合する高性能リフォーム。これらの性能リフォームの提案が奏功し「1千万円以上のリフォームが増えてきた」（同）。

同社は「北洲リフォーム」を、戸建住宅事業、建設・資材事業と並ぶ、新たな事業の柱にしたい意向だ。そのためにマンパワーの強化をはじめ、リフォーム現場の構造・完成見学会の実施、カタログなど提案ソールの増強などを、今後、積極的に行っていく。